

皮膚科のトリビア

220

浅井 俊弥(浅井皮膚科クリニック)

<http://www.asai-hihuka.com/trivia.html>

トリビア(trivia)=3を意味するtriと+道を意味するviaで
もとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったこと
から「どこにでもある場所」, そこから転じて「瑣末なこと」
となり, 今では雑学的知識, 豆知識, などを意味する言葉
として定着している。

本欄は, 小誌・浅井編集委員が学会・研究会などで見聞きした「皮膚科のトリビア」をその都度まとめ, 連載
しています。ご意見等ございましたら, ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

●第121回日本皮膚科学会総会から

令和4年6月4日

光毒性を予防する デルシメラゴンとは

メラノコルチン1受容体(MC1R)は皮膚と網膜に
存在する蛋白で, α -メラノサイト刺激ホルモン(α -
MSH)に高い親和性で結合し, 色素の増強を促すと
ともに紫外線で誘発される細胞のアポトーシスを阻
害する働きがある。デルシメラゴンは経口のMC1R
作動薬で, 光毒性反応を予防できる可能性がある。
骨髄性プロトポルフィリン症およびX連鎖プロトポ
ルフィリン症の患者を対象とした第III相試験が行わ
れ, 日光曝露によって症状が発現するまでの時間を
有意に延長させることが示された。

一言コメント

「もともと黄色い毛のAy/aマウスに投与すると6日
間で毛が黒くなるとのこと。さらに, 作用機序はわ
からないが, 全身性強皮症の皮膚硬化に対する治療
も行われているらしい。注目しておこう。」

●第121回日本皮膚科学会総会から

令和4年6月4日

レオカーナによる足潰瘍の治療

80歳代の女性。左IV趾の潰瘍, ABIが0.62で閉塞性
動脈硬化症と診断。血管内治療後も血流の改善は乏
しく, 潰瘍は改善しなかった。半年後, 吸着型血液浄
化器レオカーナを用いて血液吸着療法を開始。24回

施行後に潰瘍が上皮化した。血行再建で改善しない
重症虚血肢に対して適応を考慮すべき治療である。

一言コメント

「LDLとフィブリノーゲンを吸着させ, 血液の流動
性を改善する治療法。適応は, 包括的高度慢性下
肢虚血(chronic limb-threatening ischemia: CLTI).
CLTIという略語は初めて聞いた。」

●第121回日本皮膚科学会総会から

令和4年6月4日

フザリウムによる爪真菌症

*Fusarium*属による爪真菌症の集計。非白癬性爪
真菌症の5%を占める。詳細な報告はまれで, 国内
外で56例。原因菌種は*Fusarium (F.) solami* 23例,
F. oxysporum 20例で, 両者で全体の77%を占め
る。第1趾に多く, 病型は遠位側縁爪甲下爪真菌症
(distal and lateral subungual onychomycosis:
DLSO)が20例, 近位爪甲下爪真菌症(proximal
subungual onychomycosis: PSO)が8例だった。
KOH直接鏡検では, 菌糸の太さが不規則で, 隔壁を
有し2分岐性。培養ではサブロー培地での発育は早
く, 灰白色短絨毛性の集落を形成する。

一言コメント

「爪真菌症のKOH直接鏡検は簡単ではない。へこたれ
た白癬の菌糸か, そうではないのかわからないので,
結局は培養が必要になる。爪白癬の迅速キットの添付
文書には, *F. solami*も反応する菌種に含まれている。」

●第121回日本皮膚科学会総会から

令和4年6月4日

フェノトリン外用と
イベルメクチン内服の順番

70歳代男性に生じた通常疥癬。フェノトリン外用を午後に行い、同日夕にイベルメクチンの内服を3回施行したが改善せず。フェノトリン外用を行った翌日、洗浄後にイベルメクチン内服を行うように変更したところ、速やかに改善した。フェノトリンは神経の興奮が、イベルメクチンは神経の麻痺が作用機序であり、当初両者が相殺し、効果が減弱した可能性がある。

一言コメント

「以前から気にしていた現象である。フェノトリンは外用直後に殺虫効果がもっとも高く、一方イベルメクチンの内服は8時間後が最高で24時間で減少する。同時に使うとフェノトリンで興奮した神経がイベルメクチンで抑えきれず、興奮も覚めてしまうということか。併用する際には1日ずらすのがよさそうだが、実際はどうなのだろう。」

●神奈川県皮膚科医会学術講演会から

令和4年6月11日

Saalioとミラドライ

多汗症の治療器の話。Saalioは、ドイツ製のイオントフォレーシス機器で自宅での施術も可能。手足のほか腋窩用のパッド、顔用マスクなどもある。セットで購入すると10数万円。ミラドライは腋窩多汗症、腋臭症、腋毛の減少に有効なマイクロ波による治療で、美容医療機関で行う施術で、1回20万円ほど。

一言コメント

「Saalioは医療機関で購入し、通院患者に利用できる。どちらも知らなかったのが、患者に提供する情報としては覚えておこう。」

●COVID-19臨床懇談会から

令和4年6月17日

コロナ罹患後症状とPEM

運動後倦怠感(post-exertional malaise: PEM)は新型コロナウイルス罹患後に多くみられる症状

で、軽い労作の5～48時間後に急激に強い倦怠感が生じる。一般的にコロナ罹患後の倦怠感を評価するポイントは以下の通り。①起立試験→体位性頻脈症候群があると立ちくらみや失神が出現し、10分以内に1分間の心拍数が30以上増加する。②6分間歩行テスト→労作時の低酸素症はコロナ肺炎後の肺線維化を示唆し、胸部CTが必要。③体重増加の有無、筋力低下の確認→感染後の生活習慣病の悪化。④心因性精神疾患の合併の評価→コロナうつ。

一言コメント

「アトピー性皮膚炎などの皮膚の慢性疾患がコロナ罹患後に悪化する例もあるだろう。外用療法に対するやる気のなさが目立つような症例では、こういった評価も必要なのかもしれない。」

●第46回日本小児皮膚科学会学術大会から

令和4年7月2日

遺伝性血管性浮腫の治療薬

遺伝性血管性浮腫(hereditary angioedema: HEA)の治療薬のまとめ。

急性発作時の治療(オンデマンド治療):乾燥濃縮ヒトC1インアクチベーター(ベリナート®P静注用)、ブラジキニン受容体阻害薬、イカチバント酢酸塩(フィラジル®皮下注)自己注射可能。

急性発作の発症抑制(長期予防):乾燥濃縮ヒトC1インアクチベーター(ベリナート®P皮下注用)自己注射可能、通常週2回、血漿カリクレイン阻害薬は以下の2種、ベロトラルスタット塩酸塩(オラデオ®カプセル)1日1回内服、ラナデルマブ(タクザイロ®皮下注)自己注射可能、2～4週間に1回。

侵襲を伴う処置がある場合の急性発作の発症抑制(短期予防):乾燥濃縮ヒトC1インアクチベーター(ベリナート®P静注用)、処置前6時間以内。

一言コメント

「複雑だったが整理できた。予防用と発作時用の組み合わせもあって、専門医療機関に任せたいほうがよさそうだ。」